

下記の4項目の収入のうち、令和2年中の収入が令和元年度の収入と比較して30%以上減収の見込みとなる項目に記入してください

- ① 世帯の主たる生計維持者の令和元年度の合計所得金額が1,000万円以下である。 1,000万円を超えている場合は申請不可
- ② 世帯の主たる生計維持者に令和元年度に所得の種類が複数あった場合、令和2年中に30%以上収入減が見込まれる収入に対応する所得以外の所得合計が400万円以内である。 400万円を超えている場合は申請不可

③ 世帯の主たる生計維持者の、令和2年中に30%以上減収が見込まれる収入の種類、現状の収入額、その収入を得た期間、保険、損害賠償等による補填額

④ 世帯の主たる生計維持者の、③の収入に対応する令和元年度の収入額

各項目の①と②への記入で、令和2年中の連続した3か月以上の期間を記入し、③に該当期間での収入額を記入してください。

④には、保険、損害賠償等による補填額がある場合に、その額を記入して下さい。

記入した数値には、それぞれその額、又は月数を証明する書類をご用意ください。

令和2年中の収入予測額				令和元年度の収入額	
1-A ②給与収入	令和2年④ 月⑤から⑥ 月⑤ ⑦ヶ月分	円	円	1-B 給与収入	円
③ 保険、損害賠償等による補填額	円	円	円	④ ÷ 12ヶ月 × ⑤ = ⑥ 円	⑦ - (③ + ④) ÷ ⑥ = ⑧
2-A ②事業収入	令和2年④ 月⑤から⑥ 月⑤ ⑦ヶ月分	円	円	2-B 事業収入	円
③ 保険、損害賠償等による補填額	円	円	円	④ ÷ 12ヶ月 × ⑤ = ⑥ 円	⑦ - (③ + ④) ÷ ⑥ = ⑧
3-A ②不動産収入	令和2年④ 月⑤から⑥ 月⑤ ⑦ヶ月分	円	円	3-B 不動産収入	円
③ 保険、損害賠償等による補填額	円	円	円	④ × 12ヶ月 ÷ ⑤ = ⑥ 円	⑦ - (③ + ④) ÷ ⑥ = ⑧
4-A ②山林収入	令和2年④ 月⑤から⑥ 月⑤ ⑦ヶ月分	円	円	4-B 山林収入	円
③ 保険、損害賠償等による補填額	円	円	円	④ × 12ヶ月 ÷ ⑤ = ⑥ 円	⑦ - (③ + ④) ÷ ⑥ = ⑧

例1

例2

例1 該当する ⇒

例2 非該当 ⇒

⑤ 1給与収入	1 ⑥ × 100 =	%
2事業収入	2 ⑥ × 100 =	%
3不動産収入	3 ⑥ × 100 =	50 %
4山林収入	4 ⑥ × 100 =	16.67 %

減少の割合が30%以上の項目があれば減免されます。